

授業科目名	舞台語発音Ⅱ	担当形態	演習		
		開講学期	秋学期		
担当教員	塚田 良平	単位	1	年次	1

＝授業のテーマ及び到達目標＝

演者として人前に立つ上で正しい発音をするということは情報を伝える者としてとても重要である。正しい子音と母音の発音と、楽器とのタイミング的な相性を学ぶことにより、正確な情報の伝達とクオリティの高いパフォーマンスを観衆に提供することを目標とする講義である。

＝履修の条件と学習の方法＝

- ・授業中の私語は厳禁。
- ・携帯電話等の私用での使用は禁止。
- ・書き留める為の筆記用具等の持参。
- ・水分補給での飲料は可

＝授業の概要＝

「授業目標」

演者として人前に立つ上で正しい発音をするということは情報を伝える者としてとても重要である。正しい子音と母音の発音と、楽器とのタイミング的な相性を学ぶことにより、正確な情報の伝達とクオリティの高いパフォーマンスを観衆に提供することを目標とする講義である。

「履修の条件と学習の方法」

- ・授業中の私語は厳禁。
- ・携帯電話等の私用での使用は禁止。
- ・書き留める為の筆記用具等の持参。
- ・水分補給での飲料は可。

＝授業計画＝

「授業目標」

演者として人前に立つ上で正しい発音をするということは情報を伝える者としてとても重要である。正しい子音と母音の発音と、楽器とのタイミング的な相性を学ぶことにより、正確な情報の伝達とクオリティの高いパフォーマンスを観衆に提供することを目標とする講義である。

「履修の条件と学習の方法」

- ・授業中の私語は厳禁。
- ・携帯電話等の私用での使用は禁止。
- ・書き留める為の筆記用具等の持参。
- ・水分補給での飲料は可。

「授業内容」

1. ガイダンス…講義の目標や内容の確認。
2. 受講生の歌唱修得状況の把握
3. 発音にとって必要な呼吸の説明と実践。
4. 各子音の解説と実践。
5. 各子音の解説と実践。
6. 各子音の解説と実践。
7. 各母音の解説と音階を使つての発声。
8. 各母音の解説と音階を使つての発声。
9. 発音法を使つて課題曲の歌詞朗読。

10. 歌唱分析と課題曲歌唱。
11. 歌唱分析と課題曲歌唱。
12. 歌唱分析と外国語課題曲歌唱。
13. 歌唱分析と外国語課題曲歌唱。
14. 自由曲歌唱と指導。
15. 実技公開。

=テキスト（必携）=

=参考書・参考資料（必携）=

=成績評価の方法と評価の基準=

出席状況と授業に対する取り組む姿勢と技術の向上。

=その他=